

Neh

Chapter 13

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

1
וּנְמָצָא וְהָעָם בְּאָזְנוֹ מֹשֶׁה בְּסֵפֶר נִקְרָא הַהוּא בְּיוֹם
そして-見つかった 民の の-耳に モーセの の-書に 読まれた その の-日に
[H4672](#) [H0241](#) [H4872](#) [H7121](#) [H1931](#) [H3117](#)
בְּקֶהֱל וּמֵאֲבִי עַמּוֹנִי יְבוּא לֹא- אֲשֶׁר בּוֹ כְּתוּב
の-会衆に そして-モアブ人は アンモン人と 入る-べき ない すなわち それに 書かれている-ことが
[H6951](#) [H4125](#) [H5984](#) [H0935](#) [H3808](#) [H3789](#)

הָאֱלֹהִים עַד- עוֹלָם:
神の まで 永遠に
[H0430](#) [H5704](#) [H5769](#)

その日モーセの書を読んで民に聞かせたが、その中にアンモンびと、およびモアブびとは、いつまでも神の会に、はいってはならないとするされているのを見いだした。

2
כִּי לֹא קָדְמוֹ אֶת- בְּנֵי יִשְׂרָאֵל בְּלֶחֶם וּבַמַּיִם וַיִּשְׁכַּר
なぜなら ない 迎え を の-子ら の-イスラエル パンで そして-水で そして-雇った
[H3808](#) [H6923](#) [H0853](#) [H3478](#) [H3899](#) [H4325](#)
עָלְיוֹ אֶת- בְּלָעָם לְקַלְלוֹ וַיַּחַפְּדוּ אֱלֹהֵינוּ הַקְּלָלָה לְבִרְכָּה:
彼らに-対して を ビルアムを 呪う-ために かし-変えた 私たちの-神は 呪いを 祝福に
[H0853](#) [H7043](#) [H2015](#) [H0430](#) [H7045](#) [H1293](#)

これは彼らがかつて、パンと水をもってイスラエルの人々を迎えず、かえてこれをのろわせるためにバラムを雇ったからである。しかしわれわれの神はそののろいを変えて祝福とされた。

3
וַיְהִי כִשְׁמַעְעָם אֶת- הַתּוֹרָה וַיִּבְרְאוּ כָל- עַרְב מִיִּשְׂרָאֵל:
そして-あった とき-聞いた を 律法を を すべて の-民を 混合の-民を イスラエルから
[H1961](#) [H8085](#) [H0853](#) [H8451](#) [H0914](#) [H3605](#) [H3478](#)

人々はこの律法を聞いた時、混血の民をことごとくイスラエルから分け離れた。

4
וּלְפָנַי מִזֶּה אֶלְיָשִׁיב הַכֹּהֵן נָתוּן בְּלִשְׁכַּת בַּיִת- אֱלֹהֵינוּ
そして-これの-前に これの エルヤシブ 祭司は 任命されていた の-部屋に 神殿の 私たちの-神の
[H6440](#) [H2088](#) [H0475](#) [H3548](#) [H5414](#) [H3957](#) [H0430](#)
קָרוֹב לְטוֹבְיָה:
近い トビヤに
[H7138](#) [H2900](#)

これより先、われわれの神の宮のへやをつかさどっていた祭司エリアシブは、トビヤと縁組したので、

5
 וַיַּעַשׂ לוֹ לְשִׁכָּה גְדוֹלָה וַיִּשֶׂם הָיוּ לְפָנָיו נֹתְנִים
 そして-設けた 彼の-ために 大きな 部屋を そして-そこに あった 以前は 納めていた-者が

וְהִיזְהָר וְהַמְנָחָה הַלְבוֹנָה וְהַכֵּלִים וּמַעֲשָׂר הַדָּגָן הַתִּירוֹשׁ
 を 穀物-ささげ物と 乳香と そして-器具と そして-十分の一の 穀物と 新しい-ぶどう酒と

וְהַיְצָהָר וּמִצְוֹת הַלְוִיִּם וְהַמְשַׁרְרִים וְהַשְּׁעָרִים וְהַתְּרוּמָה
 そして-油と 命令の レビ人たちと そして-歌い手たちと そして-門衛たちと そして-奉納物の-ための

הַכֹּהֲנִים:
 祭司たちの

トビヤのために大きなへやを備えた。そのへやはもと、素祭の物、乳香、器物および規定によってレビびと、歌うたう者および門を守る者たちに与える穀物、ぶどう酒、油の十分の一、ならびに祭司のためのささげ物を置いた所である。

6
 וּבְכָל-זֶה לֹא הָיְתָה בֵּירוּשָׁלַם כִּי בַשָּׁנָה שְׁלֹשִׁים וּשְׁתַּיִם
 そして-すべての この-間 ない いた エルサレムに なぜなら の-年に 三十の

לְאַרְתַּחְשַׁשְׁתָּא מְלִיכָ-בָבֶל בָּאתִי אֶל-הַמֶּלֶךְ וְיָמִים
 アルタクシャスタの 王 バビロンの へ 私は-行った 王の-もとへ 日々の

וְנִשְׂאֵלְתִי מִן-הַמֶּלֶךְ:
 許しを-求めた から 王

その当時、わたしはエルサレムにいなかった。わたしはバビロンの王アルタクシャスタの三十二年に王の所へ行ったが、しばらくたって王にいとまを請い、

7
 וְאַבּוּא לְיִרוּשָׁלַם וְאַבְיָנָה וְכַרְעָה אֲשֶׁר עָשָׂה אֶלְיָשִׁיב
 そして-私は-来た エルサレムに そして-私は-惟った 悪の- 行った エルヤシブが

לְטוֹבְיָה לַעֲשׂוֹת לוֹ נִשְׁכָּה בְּחַצְרֵי בֵּית הָאֱלֹהִים:
 トビヤの-ために 設ける-ために 彼の-ために 部屋を の-庭に 神殿 神の

エルサレムに来て、エリヤシブがトビヤのためにした悪事、すなわち彼のために神の宮の庭に一つのへやを備えたことを発見した。

8
 וַיִּרַע לִי מְאֹד וַיִּשְׁלִיכָה אֶת-כָּל-כְּלֵי בַּיִת
 そして-悪かった 私には 非常に 私に そして-私は-投げ捨てた を すべての の-家具を 家の

טוֹבְיָה הַחוּץ מִן-הַלְשָׁכָה:
 トビヤの 外に から その-部屋

わたしは非常に怒り、トビヤの家の器物をことごとくそのへやから投げだし、

9
 וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר וַיִּמְחַר
 そして-私は-命じた 清めた 部屋を 戻した 戻した 戻した 戻した 戻した 戻した 戻した

הָאֱלֹהִים אֶת-הַמְנָחָה וְהַלְבוֹנָה:
 神の を 穀物-ささげ物と 乳香を

命じて、すべてのへやを清めさせ、そして神の宮の器物および素祭、乳香などを再びそこに携え入れた。

אִישׁ־וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ 10
各人 そして-逃げた 与えられてい ない レビ人たちの 分け前が ことを そして-私は-知った
H0376 H1272 H5414 H3808 H3881 H4521 H3045
הַמְּלָאכָה: עָשִׂי וְהַמְשַׁרְרִים הַלְוִיִּם לְשִׂרְהוּ
の-仕事を 行う-者たち そして-歌い手たちは レビ人たちと 自らの-畑に
H4399 H7891 H3881

わたしはまたレビびとがその受くべき分を与えられていなかったことを知った。これがためにその務をなすレビびとおよび歌うたう者たちは、おのおの自分の畑に逃げ帰った。

בֵּית־וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ 11
神殿は 見捨てられたのか なぜ そして-私は-言った 諒代官たちを を そして-私は-叱った
H4069 H0559 H5461 H0854 H7378
עַמָּדָם: עַל־וַאֲעִמָּדָם וְאֶקְבְּצֵם הָאֱלֹהִים
彼らの-持ち場に の-上に そして-私は-立たせた そして-私は-集めた 神の
H5977 H5975 H6908 H0430

それでわたしはつかさたちを責めて言った、「なぜ神の宮を捨てさせたのか」。そしてレビびとを招き集めて、その持ち場に復帰させた。

וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ 12
そして-油の そして-新しい-ぶどう酒の 穀物の 十分の一を 持ち来たった ユダは そして-すべての
H3323 H8492 H1715 H4643 H0935 H3063 H3605
לְאוֹצְרוֹת: 倉庫に
H0214

そこでユダの人々は皆、穀物、ぶどう酒、油の十分の一を倉に携えてきた。

הַסּוֹפֵר וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ 13
書記と そして-ツァドク 祭司と シレミヤ 倉庫 の-上に そして-私は-任命した
H6659 H3548 H8018 H0214 H0686
בֶּן־וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ וַיִּבְרְחוּ
の-子 ザツクル の-子 ハナン 彼らの-手の そして-の-下に レビ人たちの から そして-ペダヤ
H2139 H2605 H3027 H3881 H6305
לְאֶחְיֵיהֶם: לְחֶלֶק וְעַל־יָהֵם וְנִחְשְׁבוּ נְאֻמִּים כִּי מַתַּנְיָהּ
彼らの-兄弟たちに 分配する-こと そして-彼らの-上に 認められた 忠実であると なぜなら マタニヤ
H0251 H2803 H0539 H4983

פ
セラ-

わたしは祭司シレミヤ、学者ザドクおよびレビびとペダヤを倉のつかさとし、またマッタニヤの子ザツクルの子ハナンをその助手として倉をつかさどらせた。彼らは忠実な者と思われたからである。彼らの任務は兄弟たちに分配する事であった。

אֲשֶׁר חֲסִדִי תִמַּח וְאֵל־זֹאת עַל־אֱלֹהֵי לִי זְכַרְהָ 14
あの 私の-善行を 消し そして-ない この の-ために 私の-神よ 私を 覚えて-ください
H0408 H2063 H0430 H2142
וּבְמִשְׁמְרֵי: וְאֱלֹהֵי בְּבֵית עָשִׂיתִי
そして-その-務めの-ために 私の-神の の-神殿で 私が-行った
H4929 H0430

わが神よ、この事のためにわたしを覚えてください。わが神の宮とその勤めのためにわたしが行った良きわざをぬぐい去らないでください。

בְּשִׁבְתִּי 安息日に H7676	וּבְנֵי ぶどう-ぶねを H1660	דָּרְכֵיהֶם 踏んで-いる-者が H1869	וּבְיַהוּדָה ユダで H3063	רָאִיתִי 私は-見た H7200	הֵלָמָּה それらの H1992	בַּיָּמִים の-日々 H3117	15
וְאֶף־ そして-また H0637	הַחֲמֹרִים ろばの H2543	עַל־ の-上に H6006	וְעֹמְסִים そして-積んで-いる-者が H6006	הָעֲרֻמוֹת 穂束を H6194	וּמְבִיאִים そして-運び-入れる-者が H0935		
יְרוּשָׁלַם エルサレムに H3389	וּמְבִיאִים そして-運び-入れていた H0935	מְשָׂא 荷物を H3605	וְכָל־ そして-すべての H3605	וּתְאֵנִים そして-いちじくと H8384	עֲנָבִים ぶどう H6025	וַיִּין ぶどう酒 H3196	
		צִיד־: 食物を H4376	מִכְרָם 彼らが-売る H4376	בְּיוֹם の-日に H3117	וְאֶעֱיֵד そして-私は-警告した H7676	הַשְּׁבֵת 安息日の H7676	בְּיוֹם の-日に H3117

そのころわたしはユダのうちで安息日に酒ぶねを踏む者、麦束を持ってきて、ろばに負わず者、またぶどう酒、ぶどう、いちじくおよびさまざまな荷を安息日にエルサレムに運び入れる者を見たので、わたしは彼らが食物を売っていたその日に彼らを戒めた。

מִכָּר 商品を H4377	וְכָל־ そして-すべての H3605	דָּאָן 魚を H1709	מְבִיאִים 持ち込んで-いた H0935	כֹּה そこに H3427	יֹשְׁבֵי 住んでいた H3427	וְהַצְרִים そして-ティルス人たちが H6876	16
		וּבִירוּשָׁלַם: そして-エルサレムで H3389	וְיַהוּדָה ユダ H3063	לְבָנָי の-子らに H7676	בְּשִׁבְתִּי 安息日に H4376	וּמְכָרִים そして-売って-いた H4376	

そこに住んでいたツ口の人々もまた魚およびさまざまな品物を持ってきて、安息日にユダの人々に売り、エルサレムで商売した。

הַדְּבָר こと H1697	מָה־ 何-という H4100	לָהֶם 彼らに H0559	וְאָמְרָה そして-私は-言った H3063	יַהוּדָה ユダの H2715	חֲרֵי 貴族たち H0854	אֶת־ を H7378	וְאֶלְיָבָה そして-私は-叱った H7378	17
הַשְּׁבֵת: 安息日の H7676	יוֹם 日を H3117	אֶת־ を H0853	וּמְחַלְלִים そして-汚して-いる H0853	עֹשִׂים 行って-いる H2063	אֲתָם あなたがたが H2063	אֲשֶׁר あの H2063	הַרְעָה この H2088	

そこでわたしはユダの尊い人々を責めて言った、「あなたがたはなぜこの悪事を行って、安息日を汚すのか。

אֱלֹהֵינוּ 私たちの-神が H0430	וַיָּבֵא そして-もたらした H0935	אֲבֹתֵיכֶם あなたがたの-先祖たちが H0001	עָשׂוּ 行った H3541	כֹּה この-ように H3541	הֲלוֹא そうではないか H3808	18	
הַזֹּאת この H2063	הָעִיר 町 H2063	וְעַל־ そして-の-上に H2063	הַזֹּאת この H2063	הַרְעָה わざわいを H3605	כָּל־ すべての H3605	אֶת־ を H0853	עָלֵינוּ 私たちの-上に H0853
הַשְּׁבֵת: 安息日を H7676	אֶת־ を H0853	לְחַלֵּל 汚す-ことによって H3478	יִשְׂרָאֵל イスラエル H3478	עַל־ の-上に H2740	חֲרוֹן 怒りを H2740	מוֹסִיפִים 加えて-いる H0935	וְאֲתָם そして-あなたがたは H0935

あなたがたの先祖も、このように行ったので、われわれの神はこのすべての災を、われわれとこの町に下されたではないか。ところがあなたがたは安息日を汚して、さらに大いなる怒りをイスラエルの上に招くのである」。

וַאֲמַרְהָ וְיַהֲיִי כַאֲשֶׁר צָלְלוּ שַׁעְרֵי יְרוּשָׁלַם לְפָנַי הַשְּׁבֹתָ וְאָמַרְהָ
 そして-私は-命じた 安息日の の-前に エルサレムの 門が 暮れた の-とき そして-あった
[H0559](#) [H7676](#) [H6440](#) [H3389](#) [H8179](#) [H6751](#) [H1961](#)

וַיִּסְגְּרוּ הַדְּלָתוֹת וְאֲמַרְהָ אֲשֶׁר לֹא יִפְתְּחוּם עַד אַחַר
 そして-閉じられた 扉が そして-私は-命じた の-ことを ない を 開く-ことを まで の-後
[H5462](#) [H0559](#) [H3808](#) [H5704](#)

וּמִנְעָרַי וְהֵעֵמְדֵתִי עַל-הַשְּׁעָרִים לֹא-יָבֹוא מִשָּׂא
 そして-私の-従者たちを 私は-立たせた の-上に 門に ない 入る-べき 荷物
[H5288](#) [H5975](#) [H8179](#) [H3808](#) [H0935](#) [H7676](#)

בְּיוֹם הַשְּׁבֹתָ:
 の-日に 安息日の
[H3117](#) [H7676](#)

そこで安息日の前に、エルサレムのもろもろの門が暗くなり始めた時、わたしは命じてそのとびらを閉じさせ、安息日が終るまでこれを開いてはならないと命じ、わたしのしもべ数人を門に置いて、安息日に荷を携え入れさせないようにした。

וַיָּלִינוּ וְהָרְכָלִים וּמִכְרֵי וּמְכָרֵי כָל-הַיְרוּשָׁלַם כָּעֵם
 そして-泊まった 行商人たちと そして-売る-者たち 商品の 外に エルサレムの 一度
[H7402](#) [H4376](#) [H3605](#) [H4465](#) [H2351](#) [H3389](#) [H6471](#)

וּשְׁתַּיִם:
 そして-二度
[H8147](#)

これがために、商人およびさまざまの品物を売る者どもは一、二回エルサレムの外に宿った。

וַאֲעִידָהּ בָּהֶם וְאֲמַרְהָ אֲלֵיהֶם מִדּוּעַ אַתָּם לֵינִים
 そして-私は-警告した 彼らに そして-私は-言った 彼らに なぜ あなたがたは 泊まって-いるのか
[H0559](#) [H0413](#) [H4069](#)

וְנָגַד הַחוּמָהּ אִם-תִּשְׁנוּ יָד אֲשַׁלַּח בְּכֶם מִן-הָעֵת הַהִיא
 の-前に 城壁の もし 繰り返すなら 手を 私-伸ばす あなたがたに から その-時 その
[H5048](#) [H2346](#) [H3027](#) [H7971](#) [H6256](#) [H1931](#)

לֹא-בָאוּ בַשְּׁבֹתָ:
 ない 来た 安息日に セラー
[H3808](#) [H0935](#) [H7676](#)

わたしは彼らを戒めて言った、「あなたがたはなぜ城壁の前に宿るのか。もしあなたがたが重ねてそのようなことをするならば、わたしはあなたがたを処罰する」と。そのとき以来、彼らは安息日にはこなかった。

וְאֲמַרְהָ לְלוֹיִם אֲשֶׁר יִהְיוּ מְטַהְרִים וּבָאִים
 そして-私は-言った レビ人たちに あの なる-べき 身-清める-者たち 身-清める-者たち
[H3881](#) [H1961](#) [H2891](#) [H0935](#)

שְׁמַרְיָם הַשְּׁעָרִים לְקַדְּשׁ אֶת-יוֹם הַשְּׁבֹתָ נָם-זֹאת
 見張り-する-者たち 門を 聖める-ために を 日-を 安息日の これも-また これを
[H8104](#) [H8179](#) [H6942](#) [H0853](#) [H3117](#) [H7676](#) [H1571](#) [H2063](#)

וְזָכְרָה-לִּי אֱלֹהֵי וְיָחוּסָה עָלַי כָּל-ב
 覚えて-ください 私を 私の-神よ 私を そして-憐れんで-ください の-豊かさに-応じて
[H2142](#) [H0430](#) [H2347](#) [H7230](#)

פַּחְסָדָדָד:
 あなたの-憐れみの ペー

わたしはまたレビびとに命じて、その身を清めさせ、来て門を守らせて、安息日を聖別した。わが神よ、わたしのためにまた、このことを覚え、あなたの大いなるいつくしみをもって、わたしをあわれんでください。

23 אִנּוּם בְּיָמֵם הָהֵם רָאִיתִי אֶת־ הַיְהוּדִים הַשִּׁבּוֹנִים נְשֵׁים אֲשֶׁר־דָּוִד
 また の-日々に それらの 私-見た を ユダヤ人たちが 娶って-いた 女を アシュドドの
 H1571 H3117 H1992 H7200 H0853 H3064 H3427 H0802 H0796

(אֲשֶׁר־דָּוִד) (עַמּוֹנִיּוֹת) (מוֹאָבִיּוֹת)
 アシュドドの アンモンの アンモンの モアブの
 H0796 H5984 H5984 H4125

そのころまた、わたしはアシドド、アンモン、モアブの女をめぐらしたユダヤ人を見た。

24 וּבְנֵיהֶם חֲצִי מְדַבֵּר אֲשֶׁר־דָּוִד וְאִינָם
 そして-彼らの-子どもたちは 半分は 話して-いた アシュドド語を そして-できなかった
 H2677 H1696 H0797 H0369

מְכִירִים לְדַבֵּר יְהוּדִית וְכִלְשׁוֹן עַם וְעַם
 認める-ことが 話す-ことが ユダヤの-言葉を 神の-言葉で 民の-民の
 H1696 H3066 H3956

彼らの子供の半分はアシドドの言葉を語って、ユダヤの言葉を語ることができず、おのおのその母親の出た民の言葉を語った。

25 וְאָרִיב עִמָּם וְאֶקְלָלֵם וְאָכַח וּמֵהֶם אֲנָשִׁים
 そして-私は-叱った 彼らを そして-私は-呪った そして-私は-打った 彼らの中から 人々を
 H7378 H7043 H5221 H1992 H0376

וְאֶמְרָטֵם וְאֶשְׁבִּיעֵם בְּאֵלֵהִים אִם־ תִּתְּנוּ
 そして-私は-髪を-引き抜いた そして-私は-誓わせた 神に-かけて もし 与えるなら
 H4803 H7650 H0430 H5414

בְּנֵיהֶם לְבָנֵיהֶם וְאִם־ תִּשְׂאוּ מִבְּנֹתֵיהֶם
 あなたがたの-娘たちを 彼らの-息子たちに そして-もし 娶るなら 彼らの-娘たちから
 H1323 H5375 H1323

לְבָנֵיכֶם וְלָכֶם
 あなたがたの-息子たちの-ために そして-あなたがたの-ために

わたしは彼らを責め、またののしり、そのうちの数人を撃って、その毛を抜き、神の名をさして誓わせて言った、「あなたがたは彼らのむすこに自分の娘を与えてはならない。またあなたがたのむすこ、またはあなたがた自身のために彼らの娘をめぐらしてはならない。

26 הֲלוֹא עַל־ אֵלֶּה הָיָא וְיִשְׂרָאֵל
 そうではないか の-ために これらの 罪-犯した ソロモン 王 イスラエルの
 H3808 H0428 H2398 H8010 H4428 H3478

וּבְנֵי הָרַבִּים לֹא־ הָיָה מֶלֶךְ כַּמֶּהוּ וְאֶהוּב וְלֵאלֹהֵי
 そして-諸国の中 多くの ない 王が いた 彼の-ような 彼-神に
 H3808 H1961 H4428 H3644 H0157 H0430

הָיָה וַיִּתְּנָהוּ אֱלֹהִים מֶלֶךְ עַל־ כָּל־ יִשְׂרָאֵל נִם־ אוֹתוֹ
 いた そして-立てた 神は 王として の-上に 全ての イスラエル かし-また 彼を
 H1961 H5414 H0430 H4428 H3605 H3478 H1571 H0853

הַחֲטִיאוּ הַנְּשִׂים הַנִּכְרִיּוֹת
 罪を-犯させた 女たちが 異国の
 H2398 H0802 H5237

イスラエルの王ソロモンはこれらによって罪を犯したのではないか。彼のような王は多くの国民のうちにもなく、神に愛せられた者である。神は彼をイスラエル全国の王とせられた。ところが異邦の女たちは彼に罪を犯させた。

הַזֹּאת הַגְּדוֹלָה הַרְעָה כָּל־ אֵת לַעֲשׂוֹת הַנְּשָׁמַע וְלָכֵם 27
 この 大きな の-悪を すべての を 行う-ことを 聞くに-忍びないのか そして-あなたがたに
[H2063](#) [H3605](#) [H0853](#) [H8085](#)

: נְכַרְיֹת: נָשִׁים לְהַשִּׁיב בְּאֱלֹהֵינוּ לְמַעַל
 異国の 女を 娶らせる-ことを 私たちの-神に 背く-ことを
[H5237](#) [H0802](#) [H3427](#) [H0430](#) [H4603](#)

それゆえあなたがたが異邦の女をめとり、このすべての大いなる悪を行って、われわれの神に罪を犯すのを、われわれは聞き流しにしておけようか」。

לְסַנְבַּלֵּט חַתָּן הַגְּדוֹל הַכֹּהֵן אֶלְיָשִׁיב בֶּן־ יוֹיָדָע וּמִבְנֵי 28
 サンバラトの 婿戴 大いなる 祭司 エルヤシブ の-子 ヨヤダ そして-の-子ら-から
[H5571](#) [H2860](#) [H3548](#) [H0475](#) [H3111](#)

: מֵעַלִּי: וְאַבְרִיָּהוּ הַחֹרֶנִי
 私の-もとから そして-私は-追い払った ホロニ人の
[H1272](#) [H2772](#)

大祭司エリアシブの子ヨイアダのひとりの子はホロニびとサンバラテの婿であったので、わたしは彼をわたしのところから追い出した。

וּבְרִית הַכֹּהֲנִים נְאֻלִי עַל אֱלֹהֵי לָהֶם זְכָרָה 29
 そして-契約を 祢司職を 汚した-者たち の-ために 私の-神よ 彼らに-対して 覚えて-ください
[H1285](#) [H3550](#) [H1352](#) [H0430](#) [H1992](#) [H2142](#)

: וְהַלְוִיִּם: הַכֹּהֲנִים
 そして-レビ人たちの 祢司職の
[H3881](#) [H3550](#)

わが神よ、彼らのことを覚えてください。彼らは祭司の職を汚し、また祭司およびレビびとの契約を汚しました。

לְכֹהֲנֵימֵינוּ מְשֻׁמְרוֹת וְאַעֲמִידָה נִכְרִי מִכָּל־ וְטָהַרְתִּים 30
 祭司たちの-ために 務めを そして-私は-定めた 異国の-もの すべての-から そして-私は-清めた
[H3548](#) [H4931](#) [H5975](#) [H5236](#) [H3605](#) [H2891](#)

: בְּמִלְאָתָהּ: אִישׁ וְלְלוֹיִם
 自らの-仕事に 各人 そして-レビ人たちの-ために
[H4399](#) [H0376](#) [H3881](#)

このように、わたしは彼らを清めて、異邦のものをことごとく捨てさせ、祭司およびレビびとの務を定めて、おのおのそのわざにつかせた。

לִי זְכָרָה וְלְכַפֹּרִים מְזֻמְנֹת בְּעֵתִים הָעֲצִים וְלִקְרִבָן 31
 私を 覚えて-ください そして-初穂の-ために 定められた 定められた-時に 薪の そして-の-献納
[H2142](#) [H1061](#) [H2163](#) [H6256](#) [H6086](#)

: לְטוֹבָה: אֱלֹהֵי
 善き-ことの-ために 私の-神よ
[H0430](#)

また定められた時に、たぎぎの供え物をささげさせ、また初物をささげさせた。わが神よ、わたしを覚え、わたしをお恵みください。